

令和4年度 第3回 学校運営協議会 記録

R5. 2. 6 (月) 9:30~11:30

<参加者>

評議員 徳増 久子 様 (障がい福祉サポートセンター「ゆうとうの風」センター長
相談支援事業所「風の路」所長)
疋田 隆 様 (自治会長)
柴田 詩子 様 (湖西市民生委員 主任児童委員)
鈴木 徹 様 (浜名学園組合事務局長)
内山さよこ 様 (湖西市教育委員会学校教育課指導主事)
河合 梓 様 (プライムアース EV エナジー株式会社)
外山 仁美 様 (本校 PTA 会長)

学校関係者 校長、教頭、事務長、小部主事、中部主事、高部主事、総務課長、教務主任

<議事録>

司会 徳増久子会長

1、開会の言葉 (教頭)

2、内容

(1) 令和4年度新型コロナ感染状況 (別紙1)

教頭：考察として、児童生徒の感染者数は他校よりも少なかった。県内の特別支援学校の対応（濃厚接触者も7日間の自宅待機）によりクラスターを防げたと考える。職員についても、校内での感染はなく、家庭内での接触による感染がほとんどであった。

司会：児童生徒は濃厚接触でも休む対応により、授業が抜けてしまうことがあったり、教職員も人手不足で大変だったりして、苦勞していると思う。今後、対応の仕方が変わってくると思うが、子どもの健康や安全を守りながらやっていけると良い。

(2) 地域防災学習 地域における避難所体験について (別紙2)

教頭：前回の運営協議会での提案後、D委員によって職場で検討をしていただき、行政主導ではない方法で進めていくことが良いのではとの報告をいただいた。自助共助の観点からも学校主体で進めていき、それを地域へ移行していくことが良いと考える。場所は、湖西市内の小中学校体育館の借用を試みるが、難しいときは前回御提案をいただいたプライムアース様の体育館をお借りすることも視野に入れていきたい。

D委員：職場で場所の相談をしたが、対象が浜名特支の子どもと市内の小中学校の子どもたちなので、先にここでという場所を決めてスタートするのは違うのではないかとの意見があった。

司会：場所に関しては、プライムアース様も社内での御検討、御協力をお願いします。

B委員：民生委員の中でも、地域の援助が必要な方の名簿に、配慮の必要な子どもたちについても入れた方が良いという意見が出た。

A委員：自治会（浜名部会）では、5、6年前は防災部会を立ち上げて浜名特別支援学校で防災訓練を行っていた。災害時トイレの設営、プールの水の使い方や資材の点検などの訓練をしていた。高齢の方が歩いて参加していたが、坂を登ってきて、5階（体育館）まで上がるのが大変だった。コロナ禍でここ3年間実施していないので心配である。訓練は当たり前のことを受け継いでやっていくことが大切。実際にやらないと身にしみないので、そのような機会をぜひ作りたい。

司会：避難訓練で練習したことしか実際の場面ではできないと言われている。コロナで人と人のつながりが薄くなっているのもう一度そこを作ることからやっていく意識が必要である。

(3) 令和4年度学校経営報告書（別紙3）

教頭：学校経営報告書の評価内容について、学校全体に関わる12項目を中心に説明。

<協議会委員より意見・感想>

○安全で安心な学校生活に関わる項目について

D委員：健康教育については、家庭（保護者）も巻き込んでいく必要がある。子ども自らも健康を意識していくことに取り組んでいて良い。

B委員・E委員：健康面がとても大切。社会でも安全、安心、健康が基盤になる。

F委員：自らの健康の意識、コロナもあるが普段からこの意識を高めていけると良い。

C委員：この学校評価（A～D評価）について、評価基準はあるか。

教頭：職員による学校評価の結果より、AとBの比率（A評価<B評価が2倍以上はB評価とする）によって校内の評価基準で判断している。

司会：数値と全体的な職員の姿から評価をしている。

司会：職員への人権アンケートなど自己評価する以外で、職員間から意見や事例があがってくることはあったか。

教頭：2、3事例の報告があった。

司会：そのような常日頃の気付きは大事である。教職員は子どもたちをかわいいと思っていると思うが、人権に関しては自分たち自身を厳しい目で見てほしい。

B委員：人権については繊細で難しいことではあるが、このように評価の中で意識しているのは良いことだと思う。

○専門的指導力の向上に関わる項目について

D委員：個別の指導計画について、小中学校でもその子に対応して作成はしているが、特支ではそれを授業改善にも生かしている。個別の指導計画を活用までしているということが参考になった。

小学部主事：小学部では、個別の目標を学年ごとに一覧にし、授業づくりに生かしている。

中学部主事：中学部では、縦割りでの授業をすることが多い。個別の指導計画の目標は担任が立てるが、それぞれの授業を計画するとき、個別の指導計画を活用している。

高等部主事：高等部も縦割りでの授業が多いので、重点目標などを授業担当者間で共通理解をして授業づくりをしている。また、目標を生徒自身が実感できるように生徒とも共有している。

司会：特別支援学校には決められた教科書はなく、一人一人の実態から授業を作っている。授業を作るために根拠にしているものが、この個別の指導計画になる。教職員も良い授業をしていくために研修し、努力を続けてほしい。

E委員：OJTによって専門性の向上をされていて良い。外に出る前に、内磨きも大切であるので、学校の中で伸ばし合うことを続けてほしい。

F委員：雑相（雑談、相談）タイムについて、時間やテーマを設けているのか。

教頭：2か月に1回、テーマを決めて、時間を設けている。これは他者理解につながるよう、人づくりとして取り組んでいる。その他にも、学部ごとに時間を設けて、話ができる素地づくりをしている。

F委員：看護師として働いているが、コロナ禍で業務が大変になり、以前なら余白の時間に同僚と話ができていたが、今はそれが難しくなっている。コミュニケーションはとても大切なので、話をする時間を作っていて素晴らしい。

B委員：話をすることはチームワークにつながる。テーマや時間を決めて取り組むことは素晴らしい。日々の児童生徒について、タイムリーに話をする必要性もあると思う。

教頭：子どもの姿については、放課後などに日常的に話をする習慣があり、それを日々の授業に生かしている。

○主体性を発揮できる授業づくりについて

A委員：教職員は自分を高める研修に参加し、児童生徒に返してほしい。悩んでいることも、視野を広げることで気付けることも多い。独りよがりにならないで、さらに良いものがあるかもしれないので。

司会：現在、児童発達支援に携わり、自己理解の大切さを感じている。自分の得意と苦手を知り、自分のすることの影響について考えられることは大切である。苦手なことをどうクリアすればよいのか、将来を見通すということが自己理解。その先に自己選択や自己決定がある。

B委員：交流籍校交流について、コロナ禍で思うような交流活動ができていないが、県からの交流籍名簿によって、小中学校の職員も地域にこのような子どもたちがいるということを知ることが大切である。直接、顔を合わせて交流ができるようになると良い。

A委員：交流に関して、無回答の数が多い理由は。

高等部主事：高等部は交流籍校交流をしていないので、担当生徒の交流に関わらない教職員は回答していないため。学校間交流は実施している。また、小中学部での取り組みに対する、教職員の理解を高めていきたい。

○関わり合いが生まれる授業づくり

教頭：本年度は、読書県しずおかの特別支援学校の部で表彰をされました。昨年度の実績もさることながら過去10年近く、力を入れてきたことに対する評価だと思う。

司会：本に親しむことは大切だと思う。図書コーナーを充実させ続けることは予算的に難しいかもしれないが、是非継続してほしい。

A委員：困ったときに伝えることができれば、社会に出た時に多くの人と関わり合うことができるため、必要なことだと思う。

○地域とつながる活動の推進

司会：今年度もコロナ禍で苦しい地域交流だったと思う。

A委員：中学部の奉仕作業ができてよかった。奉仕作業の最初は楽しくないかもしれないが、活動を積み重ねていくうちに楽しくなってくるものである。

高等部の地域販売会は残念だった。新型コロナが大分収まったので、開催できるかと思ったが、中止となった。仕方ないと思うが、地域のいろいろな人々と関わることは大切であり、自分たちができることで地域へ貢献することはとても良いことだと思う。今後はいろいろな貢献の方法を検討して行ってほしい。

協議会委員による関係者評価

取組目標	評価	意見
安全で安心な学校生活	A	良い
専門的指導力の向上	A	個別の指導計画の活用が良い。 OJT、雑相タイムなどによる他者理解、話しやすい雰囲気づくりが良い。 引き続き、授業を向上させていく。
主体性を発揮できる授業づくり	A	評価することがとても難しいが、しっかりと取り組んでいるので良い。 自己理解について今後も努力して行ってほしい。
関わり合いが生まれる授業づくり	A	(今年度、図書教育の取組みが、読書県しずおかで表彰されたことを報告)
地域とつながる活動の推進	A	コロナ禍で苦しい地域交流だったと思う。今年度は中学部が奉仕作業を実施できて良かった。 回数を積み重ねていくことで、楽しくなっていくと思う。 高等部の地域での販売会がコロナの影響で中

		<p>止になり残念だった。地域のいろいろな人と関わることは大切なこと。</p> <p>地域の特性を生かした交流ができると良い。</p> <p>自分たちができることで貢献することは良い経験になるので、いろいろな貢献の仕方を検討してほしい。</p>
--	--	--

(4) 校内参観